

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	誰も取り残さない観光地域づくり ひとりひとりのSDGs
事業主体 (連絡先)	八ヶ岳西麓トレイル協議会 長野県諏訪郡富士見町境 12067 富士見高原リゾート内
事業区分	1 地域協働の推進に関する事業 6ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,066,610円 (うち支援金:853,000円)

事業内容

- A) 共に遊ぶ共に楽しむを主とした公共教育 伴走者講習
自然環境等を活用したフレイル予防・外出環境づくり
・福祉、教育従事者向けワークショップ
機器利用や環境整備を通じた居場所づくり
高齢者、障害者と共に楽しむための技術講習
- B) 誰も取り残さない観光地域づくり
モニターツアー及び人材養成事業
・高齢者、障害者、家族を対象としたモニターツアー
当事者や家族の出番づくりおよび支援体制の構築
認知症および障害当事者の自己発信機会づくり
・新しい生活様式に関する外出先での啓蒙
マスクの着用や検温の日常化



【誰も取り残さない観光地域づくりWS】

【目標・ねらい】

- ①外出を通じた出番づくり
- ②家族や介助者の安息
- ③観光と福祉の連携推進
- ④障害や認知症に関する理解向上

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 1) 富士見町社会福祉協議会、富士見町民生児童委員会等の研修として実施頂き、より多くの地域住民の理解を頂く機会となった。
- 2) 認知症当事者、富士見町社会福祉協議会と協働した事業は期中にユニバーサルツーリズムの先進事例として県外を含む多様な団体の受入となり、当事者の出番を創出した
- 3) 新型コロナウイルスの影響で自宅待機が続く中、外出による運動や会話を希望する高齢者が増加した。また、自発的なマスク着用を促すことが出来た。

※自己評価【A】

【理由】

新型コロナウイルスの影響を受け、富士見町社会福祉協議会と連携し地域高齢者の外出支援が出来たことは観光と福祉の連携を推進する機会となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 1) 福祉団体、サロン、家族会等による外出における機会提供および伴走支援
- 2) 事例を基にした啓蒙活動および教育機会の提供
- 3) 障害当事者および認知症当事者、家族の出番と役割の創造
- 4) 独居、ひきこもり等ソーシャルフレイル解消の為の活動
- 5) 県内各地域に向向いての「ユニバーサルツーリズム」に関する事例紹介

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある